

A 社

FilemakerServer サーバ引っ越し

要件定義書

(サンプル)

Ver. 0.1

2015/1/12

アミュレット株式会社

AMULET

1. はじめに

A社では、現在 Filemaker Server サーバによる残件管理表とスケジュール管理表を運用しています。

これからシステムの引っ越しにあたり、「今やらなければならないことだけでなく、これからやるべきこと、これからの機会で何があるのかがわかる」残件管理表となるように、外部スタッフも使える残件管理表を作りたいと考えています。

2. 新システムの目指す機能、性能、デザイン

2.1. 機能

1. 従来の機能はそのまま動作すること
2. 一部の帳表は外部(Web)に公開ができること
3. SSL サーバ証明書の利用と運用代行

2.2. 性能

1. 少人数で使うので、高速性は必要ないが、一定の応答速度は欲しい。
2. 停止時間が少なくて済むよう、可用性を高めた構成が欲しい。

2.3. デザイン

3. 今迄のサーバの場所に収容できるとうれしい。
4. 2台構成で冗長化を図る。
5. 事務所に置くのでうるさくないこと。

3. 新システムの背景

3.1. 現在の課題

Windows サーバが古く、残りのサポートが少ない。

Filemaker Server サーバをアップデートしたい。

外部からアクセスしたい。

3.2. 対策の方針

ハードウェアの更新を行い、ソフトウェアをバージョンアップし、ネットワークを工夫し、外部からアクセスできるようにする。

3.3. ユーザについて

現在、ユーザは、社員、内部スタッフに限られているが、外部スタッフにも利

用できるようにし、進捗の把握を迅速化したい。新しく外部スタッフもユーザとなる。

3.4. ユーザにとっての価値は

ユーザは自分の成果がどれだけ出ているかに深い関心を持つ。残件管理表とスケジュール管理表で関係者のスケジュールが把握できると共に、自分の成果をスタッフと速やかに共有できると共に、次の業務について計画を立てることができる。

そのため、新システムによる情報共有が必要となる。

4. システムの事前計画

4.1. 事前検証

- ・ Filemaker Server サーバから外部 Web サーバへのリバースプロキシサーバへの接続テスト
- ・ バージョンアップしても「残件管理表」「スケジュール管理」の動作に問題がないか。
- ・ セキュリティスキャナで Web サーバの事前チェックを行い、セキュリティホールを塞ぐ。

4.2. 移行計画

- ・ データ移行のリハーサルの実施
- ・ マシンの移動
- ・ IP アドレスの振り分けはどうするのか？

4.3. セキュリティ対策

1. 機密性

Web サーバのセキュリティ対策を行う

2. 完全性

3. 可用性

日次バックアップ、UPS による電源バックアップ、ハードウェア構成を 2 台にすることによるマシンのバックアップを用意する。

5. システムの構築計画

5.1. ハードウェア仕様

- ・ IA サーバ 2 台
- ・ Intel Core i7 4 コア以上
- ・ メモリ 16GB 以上
- ・ ストレージ SSD (RAID1)
- ・ バックアップ HDD
- ・ 稼働系と待機系に分かれる

4.2. ソフトウェア仕様

- ・ ホスト OS CentOS 7.x
- ・ ゲスト OS Windows Server 2016(まだなら 2012 R2)
- ・ ミドルウェア Filemaker Server 14

4.3. 設置と構築

- ・ 設置場所は社内サーバラック内
- ・ 体制
 - プロジェクトマネージャ 1名
 - ハードウェア担当、ネットワーク担当、ソフトウェア担当
 - 業務担当兼教育担当は随時担当者が兼任

6. 新システムのスケジュール

準備 1ヶ月

構築 2ヶ月

テスト 2ヶ月

2016年3月スタートで、8月中旬ぐらいに移行を実現する。

7. 予算

準備 4人／日

構築 8人／日

テスト 4人／日

担当者が週1日割当て、少しずつ作って行くイメージ。

テストでは、ユーザが協力する。

構築ではネットワーク担当が協力する。

8. 移行後の影響と評価

外部公開部分は新しいユーザである外部スタッフに使い方を教える時間が必要。

2ヶ月後ぐらいに、アンケートを実施。ユーザ満足度調査を行い、システムの改善の参考とする。

以上